

土木学会四国支部「土木紀行」NO.86(愛媛県)

～肱川橋～



肱川橋は愛媛県西部を流れる肱川の中流部に位置する、大洲市に造られた橋である。その肱川において交通手段は、渡し舟に始まり、川舟に板を並べた簡素な橋を経て、大正2年〔1913年〕に堅牢な肱川鉄橋へ移り変わった。ほぼ現在の肱川橋が形作られたのは昭和36年（1961）、車社会の到来に伴う増幅のための改修工事によってである。最近、新たな橋や道路整備が行われ、唯一の交通手段ではなくなったが、今でも、市街地と市街地を結ぶ、市民の最も身近な橋として活躍している。



肱川橋の変遷をみると、時代の移り変わりとともに交通需要が変化し、橋が拡大していることが分かる。



大洲城と肱川橋の眺め



鶺鴒の様子

肱川橋周辺には大洲城があり、また、鶺鴒などの河川でのイベントも行われていることから観光の拠点であると言える。さらに、大洲市の中心に位置しているため、地域交通の要でもある重要な橋である。

現在、周辺の景観等へ配慮し、交通における安全面を高めるために、肱川橋の架け替えが計画されている。平成21年に「肱川橋周辺まちづくり検討委員会」が設立された。

肱川橋の架け替えにより、大洲市の景観がより豊かになり、また、交通面や治水面での安全性が向上されることを期待したい。

(愛媛大学 理工学研究科 生産環境工学科 修士1年 安東 良)

参考資料：

- ・ 愛媛県歴史文化博物館 学芸員ブログ『研究室から』
<http://www.i-rekihaku.jp/gakublo/tokubetsu/215>
- ・ 愛媛西方圏ブログ
<http://ehimekennanyohokubu.blog.fc2.com/>
- ・ 国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所ホームページ
<http://www.skr.mlit.go.jp/oozu/michi/hijikawabashi.html>

土木学会四国支部「土木紀行」<http://doboku7.sakura.ne.jp/kikou/kikou.htm>

土木学会四国支部 <http://www.jsce7.jp/>